



神様にお礼を申し 上げるおたすけを

4月大教会教会長会議

立教189年4月14日

大教会長 片山幹太

本島通信

発行所 〒763-0223 香川県丸亀市本島町泊268
天理教本島大教会
 電話 0877-27-3321 (代)
 本島通信編集室 R260415-0419-15
 奈良県天理市指柳町270-1
 本島詰所 〒632-0093
 電話 0743-63-1571 (呼)
<https://www.honjima.com>
 Email: webmaster@honjima.com
 大教会 朝夕おつとめ時間
 【5月1日～5月31日】
 朝づとめ 午前6時15分
 タづとめ 午後7時00分

4月は教祖のご誕生月です。ご存命の教祖の親心を感じ取りながら、日々を過ごしたいと思っています。

最新号の天理時報(4月15日号)では、布教の家に出发される新入寮生が、真柱様からお言葉を頂戴したという記事がありました。

真柱様は「ようぼくは教祖の道具衆と言われるように、教祖の手足となつて、この世を陽気ぐらしの世界に立て替えるために働くことが使命であり、にをいがけ・おたすけを実行することは、教祖が一番お喜びくださることである」と仰せられました。

でも、おたすけの自信がないという方も多いと思います。そこで決してプレッシャーに思わないように、12月26日の本部月次祭における中山慶純先生の神殿講話から一部をご紹介します。

「私の身近に、こういうおたすけをされた方がいます。二十五歳の男性ですが、仮にAさんとします。

Aさんのおばあさんが「憩の家」に入院され、少し遅れて、Aさんが修養科へ入ることになりました。

ある日、Aさんは時間を見つけて、おばあさんのお見舞いに行きました。おばあさんは「よう来てくれた」と大喜び。病院生活のつらいこと、嫌なことを、ここぞとばかりに孫のAさんに話し続けて一時間が経ちました。

じつと聞いていたAさんが、帰る時間になりました。おさづけを取り次いで、最後にひと言、「おばあちゃん、毎日いろいろあるんだね。でも、寝る前に、きょう一日の中でうれしかったこと、楽しかったこと、おもしろかったことでもいいよ、何かあるでしょう。何でもいいから一つ探して、神様にお礼申し上げてから寝てくださいね」と言い残して、帰っていった。

おばあさんは、孫との会話を振り返った。「私のことばかりしゃべったなあ。孫の話一つも聞いてやらななんだなあ。愚痴ばかり聞かせて悪かったなあ。そういえば、最後にひと言、言っていたなあ。きょう一日

の中でうれしかったこと、楽しかったことねえ。何かあるかなあ」と思いう出してみた。「お昼ご飯のデザートメロン、小さなひと切れだったが、おいしかったなあ」。メロンのお礼を神様に申し上げて寝た。

神様にお礼申し上げる行動を一週間続けた次の日、いろいろな検査がありました。お医者さんは、その結果を見て「ずいぶん良くなっていますよ」と。おばあさんは、うれしかった。孫との約束を守ったことが良かったのかな、と思った。このうれい話を孫に教えてやりたいなあ。しかし、孫は来なかった。

でも、誰かにこのうれしい話を教えたい。同部屋にもう一人、おばあさんがいた。この人に声を掛けた。「私、これこれで神様にお礼して寝るようにしたら、こんなに良くなったよ。あなたもやってみませんか」。すると、「そうなんですか。じゃあ私もやってみましょう」ということになった。その夜から早速始めた次の日、二人は「きょうは何にお礼を言うつもり?」「私はあれこれと、いくつもあって迷うくらいです」と。それまでは不平不満の会話が多かったが、このことがあってからは、う

楽しいこと、楽しいことを探す、明るく楽しい会話に変わっていった。

その一週間後、再び検査があった。結果を見たお医者さんは『この部屋の二人はどうしたんだ。成績いいよ。この調子なら退院も近いよ』とニコニコ話された。この病室全体が笑いに包まれていた。

Aさんの『神様へのお礼』という小さなひとりの話。このちょっとした話が、二人のおばあさんの身上回復を早めるご守護につながったのだと思います。この話を取り次げば誰でも同じご守護がある、ということではありません。Aさんが、おばあさんの話を一時間じつと我慢して聞き続けたこと、二人のおばあさんが、聞いたその日からすぐ実行したことなどもご守護につながったと思います。いずれにしても、Aさんのひとこと話が、二人へのをいげけになり、おたすけの種になったことは事実です。

ひとことはなしハひのきしんにほひばかりをかけておく (七下り目) から始まります。(後略)

私たちは、つい難しく考えることがあります。私たちが目指している

本島大教会 神殿講話(要旨)

【立教189年4月14日】

形ではなく真実心を選び、神様に受け取って頂ける歩みを

大教会役員 岩橋竜造 (いわはしりゅうぞう)

の陽気ぐらしです。教祖の教えを意識して、「たんのう」とか「伏せ込み」も忘れず、うれしかったことを見つけて神様にお礼を申し上げる、そういうおたすけをしていきたいと思う次第です。(文責・本島通信編集室)

動の実行を実感することができて、とても有難く思いました。そして大教会成人目標にもございましたが、励まし合うことの大切さです。自分一人だけでは続けることが難しかったことも、今回は励まし合う人がいたことで、何とか続けられたように思います。実際のところは励まし合うというよりも、一方的に励まされてばかりでしたので、今後はもっと人を励ますことができるようにステップアップしたいと思いました。

真柱様のお言葉通り、日々の勤めが3年前に戻ってしまうことのないよう継続し、10年後の教祖150年祭活動では、さらに教祖にお喜びいただけるよう努めたいと思っております。

それでは本題に入らせていただきます。

大教会の御用の一つに上級参拝があります。これは毎月23日に代表者が一名、本島分教会時代の上級教会である越乃國大教会(福井県敦賀市)月次祭と、河原町大教会(京都市左京区)へ参拝させていただくものです。

私も毎年当番に当てていただいておりますが、その中でも一昨年8月に越乃國大教会へ参拝させていただきました。

ただ今は大教会長様を忠に4月の月次祭を陽気に勤めさせていただきました。誠にありがとうございます。今日は「運び」についてお話させていただきます。よろしくお願ひいたします。

本題に入る前に、少しだけ私の教祖140年祭活動を振り返らせていただきます。このたびの年祭活動は私にとって10年前に比べると少し充実したものになったと感じて



いた時のことをお話いたします。

私はそれまで真夏の上級参拝に当たったことがありませんでしたので、年間役割表を見たときから「うあ、暑いやろなあ」と思っていたのですが、この数年の夏は猛暑日が連日続くような酷暑で、そのときも想像以上の暑さでありました。

上級参拝ですから、もちろんスーツにネクタイを着用します。私は周りから異常と言われるほどの汗かきですので、下着やワイシャツはもちろん、スーツにまでじわじわと汗が染みていきます。2枚用意したタオル地のハンカチはすぐに使いものにならなくなってしまうました。電車で敦賀まで向かう道中、スーツを着ている人はほとんど見かけません。上着を脱いだらいいのと思われ

るかも知れませんが、私のような体型ですと、知らないうちにワイシャツの裾がズボンからはみ出してきます。汗びちゃびちゃの上にワイシャツがはみ出しているおじさん。それだけは避けたいと思い、我慢しておりました。道中、頭の中ではずっと「何で真夏にスーツやねん」と、不十分な気持ちでおりました。とは言え、いざ越乃國大教会へ到着しますと、そのような思いも片隅に追いやって、月次祭を勇んで参拝させて頂きました。

てをどり後半が終わりに近づいた時、10名程の青年会員と思われる方々が神殿に入ってこられ、結果の前に整列されました。服装は皆さんラフで楽な格好をされています。

何だろうと思っているうちに、てをどり後半が終わるやいなや、越乃國大教会長様をはじめ結果内に座っておられた先生方が一斉に参拝場へ向きを変えられました。すると整列していた青年会員の代表者が、大教会長様へ「ただ今からおちばに向かつて徒歩団参らせていただきます」という挨拶をされ、続いて大教会長様から青年会員の皆さんに言葉がありました。その後、若者が出発するにあ

たり、大教会長様を先頭に玄関へ進まれ、若者たちの姿が見えなくなるまで全員で見送りをされたのでした。

その場に私の高校時代の友人がおりましたので、話を聞かせてもらったところ、この徒歩団参は50年以上続いている恒例行事で、8月23日に敦賀を出発して4日間、野宿しながら26日のご本部月次祭のかぐらぶと、めに間に合うように、およそ150キロの道を歩かれるのだそうです。

私はこの一連のようすにしばらく圧倒されていましたが、徒歩団参に出発する若い方たちを、大教会長様はじめそこに居られるすべての方が、まるで我が子を送り出すかのように全力でお見送りされているように感じ、大きく温かい親の信仰に触れたように思えて、ありがたい気持ちでいっぱいになり、感動いたしました。

そしてお見送りの後、神殿講話が始まったのですが、お話を聞かせていただきながら、今しがた出発された皆さんのことが頭に浮かんでまいりました。

私が数十分歩いただけで不足に思うようなこの酷暑の中を、彼らはきつと勇み心いっぱい歩いていくのに違いありません。そして150キロ

の道を歩み切り、親神様、教祖へご挨拶を申し上げた時の心は、きつと感謝と喜びと感動で満ち溢れているだろうと想像したのであります。

それに比べて今日、自分ほどのような心で越乃國へ運ばせてもらったのか。暑い暑いと不足ばかりを思い、勇んだ心などなかったのではない。大変情けなくなってしまうりました。その反省から、改めて「運ぶ」ということを考えてみたいと思ったのであります。

運ぶと聞いて、まず私の頭に浮かびますのは教祖伝逸話篇「子供が親のために」であります。意外かも知れませんが、200篇ある逸話篇のお話の中で、「運ぶ」という言葉が出てくるのはこの逸話だけのようです。全文拝読させて頂きます。

(稿本天理教教祖伝逸話篇一六「子供が親のために」を参照)

伊三郎はこの時15才でした。15才の少年がお屋敷まで五十町(約5キロ余り)の道を一日のうちに3往復したことになります。片道1時間はかかったでしょうから、6時間は歩かれたこととなります。しかも3回

目は夜道です。

それだけを考えれば辛いことだと思ってしまうのですが、母親のたすかりを必死に願う伊三郎にとって、お屋敷までの道のりはそれほど辛くはなかったのではないのでしょうか。そして、見抜き見透しの教祖は、伊三郎の親を思う心を「真実なら神が受け取る」と、お受け取りくださいました。五十町の道のりを3回歩いたという形ではなく、母親をたすけてほしいという心をお受け取りくださったのだと思うのです。

一般的に「足を運ぶ」という言葉は、ただ移動するということだけでなく、何か特定の目的があつて、その場所までわざわざ行く、という意味が含まれています。お道の信仰者である私たちにとって、足を運ぶ場所とは親神様・教祖のいらっしゃるおちば、または教会であり、足を運ぶ目的は、親神様・教祖に真実をお届けすることだと思えます。真実とは、どうでもたすかつてもらいたいという、たすけ、一条の心であります。

以前、私が少年会本島団の団長を務めさせていただいた時のことです。こどもおちばがえりひのきしんのため、遠方からある委員が、仕事

を終えてから青春18きっぷを使って、おちばへ帰って来るということでした。夜も遅いし、荷物もあるでしょうから「駅まで車で迎えに行くよ」と伝えました。すると「ご本部に参拝してから詰所に入ります」との返事です。「車でご本部まで行くよ」と言いましたら、「いえ、歩いて行きたいのです」ということで、歩いて参拝に行かれました。

真夏の暑いときに、仕事を終え、長い間電車に揺られて、かなり疲れているに違いないと思うのですが、そのような中でもまずおちばへ、親神様・教祖のもとへ運ばせていただきたいという気持ちが伝わってきて、彼の真実を感じました。私が彼の立場だったら、たぶん車で詰所直行だったと思います。

現在、私にはおちばでの御用があり、毎月おちばがえりさせていただいておりますが、御用が目的になつてしまい、おちばへの運びが御用のついでになつてしまつていることに気づきました。

おちばがえりの際、妻から「教会を代表して参拝してきてください」と声をかけられるのですが、そのたびに自分一人だけのおちばがえりで

はないと心に治めていきます。はたして自分は教会につながる方々の無事、たすかりを真剣に願っているのか、心のともなわれない形だけのおちばがえりになつていないのではないかと反省するばかりであります。

現代ではいろいろなことが便利になり、先人と同じような苦勞はなかなか出来ないかもしれませんが、それでも金銭的なことなど、今でも苦勞があると思います。大教会から遠い教会、海外教会の方々にとってはなおさらだと思います。それに比べ私の教会は丸亀にあるため、フェリー代だけで大教会に帰って来ることができません。時間もかかりません。遠方の皆さまには申し訳ない気持ちはありますが、かといって教会の場所を変えることはできません。私にできることは、心と行いを変えることだけです。

4年前、越乃國大教会の徒歩団参加50回目を迎えたときの案内文に「を、を、を慕い、嬉々としておちばに運ばれた先人たちの苦勞や思いを味わわせていただきながら…」とありました。私はこの言葉を目にして、目指すべき姿勢を教えて頂いたように感じました。

先人の苦勞を知ると同時に、先人の思いを学び、そこに自分の心を近づけていくことができるよう、まず喜びの心をもって運ばせてもらいたい。そして教祖に「真実なら神が受け取る」と仰つていただくことができるよう努めてまいりたいと思います。

(文責・本島通信編集室)

大教会長動向

▼5月(予定)▲

- 2日～5日、教人資格講習会講師
 - 9日、本樺分教会巡教
 - 10日、樺太分教会巡教
 - 13日、本岡崎分教会巡教
 - 15日、赤峰分教会巡教
 - 19日、本篠分教会巡教
 - 22日、大教会月次祭執行
 - 24日、修養科門出まなび
 - 25日、かなめ会委員会
 - 26日、本部月次祭参拝
 - 27日、かなめ会
 - 28日、新任教会長の集い
 - 30日、中山陸信主、基子刀自年祭
 - 31日、本九分教会
- 創立100周年記念祭

以上

第115回本島団鼓笛隊春季合宿



本島団鼓笛隊(佐藤道子部長)では、3月28日から4月1日までの4泊5日間、本島大教会を会場に第115回春季合宿を実施。総勢85名が参加しました。(ドリーム隊11名、本隊36名、高校生6名、リーダー32名)
合宿中は暖かい日和に恵まれ、身の上者も少なく元気に練習に取り組みました。また、練習だけでなく、おてなおし、ひのきしん、リーダーによる体験談などのプログラムも行いました。

期間中、婦人会MOMOの会が「鼓笛隊応援ひのきしん」として、食堂ひのきしんや、鼓笛隊服のワッペン付けを行いました。さらに夜食に手作りフレンチトーストやチャージャーハン、おにぎりなどの差し入れもあり、子どもたちは大喜びでした。
31日の御供演奏は強風のため、屋外ではなく講堂で実施。「エレメンタリーマーチ」「スコットランド・ザ・ブレイブ」「RYG」「シヨアのテーマ」「Let's go Blue」

おぢがえりテーマソング新曲「みちのこキラリ」「パレード・ザ・ホンジマ」を演奏しました。

閉講式で挨拶に立った大教会長様は「一人だけでハッピーになるのではなく、皆揃い、大勢になればなるほど喜びが大きくなります。自分のことだけでなく相手を思いやるのが良い演奏、良い演技につながります。私たちの目指す先には、陽気ぐらしがありません。どんなに苦しい時も、力強い心を養い、夏に向かってがんばりましょう」と述べられました。

夕づとめ後にはパーティーを催し、在籍者、ひのきしん者のみなさんと楽しいひとときを過ごしました。

4月1日は1便にて関東・九州地区が出発し、残りの分隊は宿舍掃除、シート入替を行い、2便で出発しました。

なお合宿では、ひのきしん者29名がつとめられ、教会や個人からたくさん差入れをいただきました。

教祖140年祭 学生おぢがえり大会

全国各地の道につながる学生たちが帰り集う「教祖140年祭 学生おぢがえり大会」は3月28日、「みんなで勇んで、みんなで作る、優しさで笑顔あふれる大会を」をテーマに親里で開催されました。

全国各地の道につながる学生、教区参加4名の計23名と学生担当委員8名が集い、ドッジボールなどを通して交流しました。
なお最後に次期委員長の選出が行われ、長尾直太郎君が選ばれました。

青年会ひのきしん

青年会本島分会(伊東賢太郎委員長)では、4月11・12日に大教会で祭典準備ひのきしんを実施。青年会員4名、OB4名、婦人会員1名の9名が参加しました。

餅つき、調餼、教会長会議準備、合祀祭準備、タケノコ掘りを行いました。



第108回婦人会総会

天理教婦人会第108回総会は、「総ての会員がおちばへ、人を誘っておちばへ、別席者とともに」を掲げ、4月19日午前9時30分より本部中庭を主会場に開催されました。本島支部(片山かおり支部長)からは191名(本島詰所受付分)が参加。日曜日の夏日ということもあり、大勢が会場に参集し、婦人会長様のご挨拶、真柱様のメッセージを聞かせていただきました。



式典終了後、本島詰所に戻り「支部の集い」を実施。85名12班に分かれ、総会のふりか



えりを約1時間行いました。

片山かおり支部長は「今年の11月1日は、女子青年大会が開催されます。前日は「おやさとマルシェ」と題して模擬店も出店されます。これからのみちのだいとなる女子青年をしつかり育て導く機会をお与えいたしておりますので、お互い心を尽くして丹精させていただけますように」と述べられました。

また総会に先立ち、前日の18日午後5時より記念行事講演会(テーマ「おやさま」)が5会場に分かれて催され、本島支部は東右第一棟会場の宮森みよゑ先生(明拜支部長)の講話を聞かせていただきました。

婦人会MOMMOの会

婦人会本島支部MOMMOの会は3月29日から31日まで、「鼓笛隊応援ひのきしん&勉強会」を実施。12名が参加しました。

ひのきしんは、食堂の手伝い、少年会おつとめ総会のおつとめ着採寸と襟付け、鼓笛



隊の洗濯干し、隊服のワッペン付けなどを行いました。

教理勉強会では教理動画「くにとこたちのみこと」をもたりのみことを視聴し、ふり返りを行いました。

また希望者対象に、横山正次氏による本島島内巡りも行い、好評でした。

参加者からは「日々、十全の守護のおかげで生かされている、力になっているのだと思います。」「日ごろ学びがあまりありません。教理が難しいと思っていました。学んでみて分かりやすかったです」など感想がありました。



第31回

女子青年大会

友達誘って おやさどちばへ
～伝えよう 私たちからみ教を～

立教189年 2026年 **11/1**日

式典 ▶ 午前10時 | 本部中庭
記念行事 ▶ 式典終了後 支部の時間
～話そうみんなて～

別席

おちばに帰らせていただくこの機会に別席を運びましょう。また、別席者のご守護を頂きましょう。

記念行事

おやさとマルシェ

時間 / タづとめ後～午後8時
場所 / 東・西泉水プール前広場

各地のおいしいものや雑貨などの模擬店を楽しもう!

10/31

天理教婦人会

大教会辞令 (立教189年4月14日付)

おつとめ修練部

- 部長 岩橋竜造 ○
- 副部長 茶屋原良昭 ○
- 同 横山正次 ○
- 委員 高垣光治 ○
- 同 田中丸勝也
- 同 白垣初生
- 同 長濱充憲
- 同 阿部盛夫 ○
- 同 江草克二 ○
- 同 片山孝代
- 同 伊東晴美
- 同 井上みつの
- 同 岡崎むつゑ
- 同 原口和子

布教部

- 部長 平井真治郎
- 副部長 大上道徳 ○
- 同 片山和信 ○
- 同 宮路和徳 ○
- 委員 高島栄造 ○
- 同 位下道治
- 同 鎌田典夫
- 同 文岡邦人
- 同 橋口 徹 ○
- 同 後藤正樹 ○
- 同 四辻朝恵 ○
- 同 佐々木由江 ○

※○は新任

※○は新任

以上

大教会世話人変更 本部員 飯降力先生に

本島大教会世話人はこれまで本部員宮森与一郎先生がお勤めくださいましたが、立教189年4月1日付で、本部員飯降力先生に変更になりました。

宮森与一郎先生には、立教174年(2011)より15年間、大教会世話人をお勤めくださいました。

事情はいび

(立教189年4月18日)

鶴峰分教会

任命願

新任教会長 加藤大明 ひろあき

臨時祭典願

就任奉告祭 立教189年6月16日

(立教189年4月26日)

本九分教会

臨時祭典願

創立百周年記念祭

立教189年5月31日

教会長 雲庵春彦 以上

おさびげの理拝戴

(立教189年3月分)

大駿峰 宮川靖代

肥後八峰 肥後一希

【計2名】

修養科第二〇二五期修了

(立教189年3月27日修了)

馬木尾 宮村妙子

【計1名】

証拠守り下附願

(立教189年3月分)

本千代1、パシフィックコー
スト4、赤峰4、吉松峰1、
ウイルソン2

【計12名】

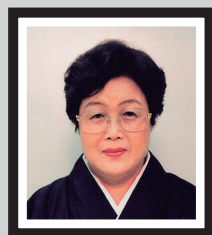
教祖お誕生まつり

4月は教祖お誕生月にあたり、14日の月次祭終了後、参拝者全員で「教祖ご誕生讃歌」「四月のうた」「教祖御誕生祝歌」を歌い、教祖228回目の誕生日をお祝い申し上げました。これに先立ち前日の夕づとめ後、歌唱練習を行いました。



訃報

山田迪子姉



山田迪子姉(攝肥分教会長)は去る4月7日午前10時38分お出直しになりました。享年96歳。

葬儀はみたままつしが4月9日午後6時より、告別式が翌10日午前11時より、熊本市内の葬祭場において、片山直明本攝分教会長斎主のもと執り行われました。

山田迪子姉略歴

昭和6年3月12日生まれ。昭和28年9月18日、おさびげの理拝戴。同年9月27日、修養科第147期修了。昭和60年3月21日、教会長資格検定合格。同年3月28日、教人登録。同年4月20日、攝肥分教会3代会長拝命。同年11月22日、大教会神殿奉仕人。教会長在職期間41年間。

すき間の おはなし

ちゃんぼん職人 ZEROの衝撃

近い将来、お金を積んでもおつとめの鳴物が手に入らなくなる日がくるかもしれない。そう言われると「えっ」と思いませんか？ 理由は鳴物の素材が手に入りにくくなっていることと、職人や工房数の減少にあります。

まず拍子木の素材となるのは、黒檀(エボニー)や紫檀(ローズウッド)です。日本国内ではほぼ手に入らず、もっぱら輸入品に頼ってきました。それがワシントン条約の絶滅寸前種に指定され、「商業目的の国際取引は出来るが、輸出国政府の許可が必要」になり、今後、手に入りにくくなる可能性が濃厚です。紫檀は三味線や胡弓の棹にも使われています。

つぎに大太鼓の胴に使われるケヤキの大木、琴に使われる会津桐は、日本国内では立木としてはほぼ見つからないそうです。職人の数も少なくなりました。すりがねを作る工房は日本で2ヶ所のみ。小鼓の革職人は日本で3人、調緒を編む職人は2人、胴を作る職人は1人のみ(しかも高齢者となりました)。衝撃的なことは、ちゃんぼんを作る最後の職人が廃業され、ちゃんぼん職人がゼロになったことです。

今はまだ天理の神具店に行けば、在庫品が売られています。10年後はどうなっているかわかりません。私たちにできること。まずはいま教会や布教所で使っている



鳴物はずっと使わせていただきますように、大切に扱います。拍子木の一部分が欠けてしまっても、捨ててしまわないように。大切に、大切に。写真は修養科で磨き上げられたちゃんぼん。お宝です。

(むかいじよ)

布教部報告(4月分) 数字は本年の提出回数です

統計 (3月1日~31日)

にをいがけ名簿提出教会 (4月)		
本島	4	撮泉
樺太	4	本太
本倉岡	3	本萩
本室	4	本福
渋谷	4	安藝本中
代々木	4	本備前
本萬代	4	本迪
本草	4	本府中
本護	4	沖浦
本恵	4	本亀
本恵明	3	崇徳
本静濱	3	与島
本浜	2	本高
本米浜	4	本宣道
本千代	4	本九
本千治	4	本陽山
本千恵	4	本肥港
本浜陽	4	本新田
攝津	4	本九台
計 57 教会		482 名

おさづけ取次報告教会 (4月)		
本島	4	本平濱
樺太	4	本浜陽
本倉岡	4	攝津
本陸奥	3	攝泉
本樺	4	本太
渋谷	4	本萩
代々木	4	本岡
本萬代	4	本福
本都	4	安藝本中
本京	3	本備前
本道盛	4	本迪
本草	4	本府中
本恵	4	沖浦
本恵明	3	本亀
本静濱	4	崇徳
本浜	4	与島
本米	4	本勇
本米臺	4	本高
本米浜	4	本宣道
本千代	4	本陽山
本千賀	2	本肥港
本千治	3	本新田
本千恵	4	本新田
計 67 教会		1,544 回

教会名	初席	中席	響の鐘	修科	教人講習	検定講習
本田		1				
本千代	1	1				
本同朋	1	1				
バティック	1	1				
馬木				1		
本宗		1				
本陽		1				
本千嘉	3					
本大肥		1	1			
本鶴			1			
合計	7	7	2	1	0	0

ろくぢ云 (立教100年4月分)

▼本島△片山幹太・片山かおり・香葉子・幹太郎・好次・昇太△片山秀明△長尾真実・幸太 ▼樺太分教会 ▼本樺△大上ほの香・はる香・太吉 ▼本浜△片山清枝・正枝・誠 ▼崇徳分教会 ▼本高分教会 ▼安藝本中△池田こみち ▼ポートルランド△片山和信・陽子・昇慶・竜次 ▼シートタック教会
ご芳志に厚くお礼申し上げます



学生層育成者講習会

【少年会本島分会】

- 日時：5月22日(金)大教会月次祭 神殿講話において
- 講師：中山祥吉先生
(本部学生担当委員長)

詰所駐輪場ステッカー

【本島詰所】

- 本島詰所駐輪場を利用している自転車等の再登録を行います。
駐輪場に自転車等を置いている方は、詰所事務所にご連絡の上、新ステッカーを車輛に貼付してください。
- 期限：本年10月27日
 - 期限を過ぎても申し出のない車輛は撤去いたします。

にをいがけ名簿 WEB 報告フォーム休止

【布教部】

- 「にをいがけ名簿」「おさづけ取次報告」のWEB報告フォームは、本年4月30日をもって一時休止いたします。(新人事にともなう担当者変更のため)
- にをいがけ名簿・おさづけ取次報告は、所定用紙にご記入の上、毎月21日(4月は13日)まで、本島大教会にお運びいただくか、郵送・FAXでお届けください。写真で撮ったものをメールに添付して送っていただいても結構です。
- 所定用紙は本島ドットコムからもダウンロードできます。
- 郵送先：〒763-0023
香川県丸亀市本島町泊268番地
天理教本島大教会布教部
- FAX：0877-27-3323
- メール：fukyo@honjima.com

<https://www.honjima.com/>

みちのだいおはなし会

【婦人会本部】

- 日時：5月26日(火)午後1時～2時
 - 会場：東講堂
 - 講師：久保初美(麴町前支部長)
 - 演題：日々陽気ぐらし
- ※どなたでも入場できます。託児はありません。

能登半島地震救援支援有志隊

【有志隊】

- 日程：5月26日夜、本島詰所出発。27日午後3時まで活動。28日未明、本島詰所到着
- 内容：仮設住宅集会場にて支援活動
- 費用：食事・入浴費は各自払い。諸費用(燃料代、食材代等)は参加人数での均等割。
- 連絡先：牧野善明
(080-5407-4004)

おやさとふしん青年会ひのきしん隊

【青年会本島分会】

- おやさとふしん青年会ひのきしん隊
6月隊
- 日程：6月1日(月)～7日(日)
6月6日(土)～7日(日)
6月13日(土)～14日(日)
家族入隊日

天理教校専修科同窓会

【同窓会担当】

- 日時：9月25日(金) 14:00～
- 場所：天理教校講堂(東右第一棟4階)
- 記念講演：本部員中山慶純先生
- 参加費：1,000円
- 同窓会担当：平井真治郎

5月ひのきしん派遣依頼

【総務部】

- 〈大教会・食堂ひのきしん〉
- 期間：5月21日～22日
 - 派遣：渋谷
- 〈詰所・食堂ひのきしん〉
- 期間：5月25日～26日
 - 派遣教会：安藝本中、馬木尾

依存症 基礎講座 (オンライン)

【布教部後援：依存症たすけあいの会】

- 『依存症 基礎講座』をオンラインにて10回にわたり開催。
- 本講座では、依存症の基礎知識や当事者への関わり方、医療との連携、自助グループや家族会の活用など、依存症のおたすけに役立つ情報を提供。
- 講師は、依存症たすけあいの会スタッフがとめます。個別の相談にも対応。
- 開催日程：
立教189年
4月24日 依存症の基礎知識
5月24日 ギャンブル依存症
6月24日 ネット・ゲーム依存
7月24日 アルコール依存症
8月24日 薬物依存
9月24日 依存症の基礎講座
11月24日 ネット・ゲーム依存
12月24日 ギャンブル依存症
立教190年
2月24日 アルコール依存症
3月24日 共依存
- 時間：各開催日の19時半～21時
- 内容：オンライン講義(Zoom)※講義後に質疑応答の時間を設けます
- 対象：依存症で困っている人、興味のある人
- 受講費：無料
- 締切日：開催日の2日前
- 備考：講座の翌日に、個別の相談にも応じます(要予約)
- 申込み：二次元コードより、フォームにてお申込みください



大教会5月月次祭ライブ中継

【本島通信編集室】

- 対象：5月22日大教会5月月次祭に帰参できないため、ライブ中継視聴を希望する方
- 申込方法：
メールで、live@honjima.comに「ライブ希望」と「教会名・氏名」を記入してお申し込みください。当日朝ライブ視聴できるアドレスをメールでお知らせします。
- 申込締切：5月21日午後5時まで
- ご注意：ライブ中継は毎月のお申し込みとなります。

